

みしま

熟練の技 伝統の美

第8回全国編み組工芸品展が3月14日から22日まで、交流センター山びこで開催され、全国各地の優れた編み組工芸品が展示されました。マタタビ細工=写真=など、三島町や近隣町村の作品も数多く出品され、来場者の注目を集めました。

(2ページに記事掲載)

2009

4

広報みしま No.193

もっと身近に、もっと親しみを 特集 三島町役場

役場は住民のためにある
町職員の任務は、住民のために働くことだ
皆さんにとって親しみの持てる、信頼できる役場をつくりたい

各課の仕事や、今年度の予算
そして職員の思いをお伝えします



- 1 多くの来場者でにぎわう生活工芸館
- 2 使い込むほどに味が出ることで人気の山ブドウ細工
- 3 繊細な技術で作られるヒロロ細工は、皇室にも届けられた逸品
- 4 交流センター山びこで開催された全国編み組工芸品展。素晴らしい技術の作品が多数出品された
- 5 会場には、ヒロロコースター作りと、山ブドウストラップ作りの体験コーナーが設けられた



暮らしの知恵から生まれた山里のブランド 編み組細工を求めて首都圏からも多数来場

第28回三島町生活工芸品展・第8回全国編み組工芸品展

第28回三島町生活工芸品展は3月14・15日の両日、生活工芸館で開催されました。三島町の国指定伝統的工芸品「奥会津編み組細工」をはじめ、ケヤキの木工品や木綿の針子など、町民110人の作品874点が展示販売されました。作品は審査が行われ、大賞には角田キヨ子さん「浅岐Ⅱの「ヒロロ」ホルダー、ポーチ付き」が選ばれました。生活工芸運動の功労者で名誉町民の宮崎清千葉大名誉教授Ⅱ「千葉県習志野市Ⅱは「工芸」というと、多くの人はガラスの向こうにあるような物をイメージす

第8回全国編み組工芸品展は3月14日から、交流センター山びこで開催され、22日まで展示販売が行われました。全国15府県の84人から、495点の作品が寄せられました。最高賞の経済産業大臣賞には、久保田敏昭さん「長野県野沢温泉村Ⅱの「小判型バスケット」」が選ばれました。

（※受賞者名簿は12・13ページに掲載）

町民課

健康づくり、医療、介護
戸籍、諸証明、国民年金
ごみ処理、そして納税

皆さんの暮らしの身近に
いつも町民課があります



日ごろの運動で、生活習慣病を予防



地域を守る住民組織「三島町消防団」

総務課

地域を守る消防団、住民自治
将来を見据えた財政
各地区の振興支援、広報広聴

総務課は、皆さんと共に
地域づくりを進めます

町民課は、役場の窓口から向かって中央にあり、9人の職員が配属されています。課内には、町民生活係と保健福祉係の2つの係があります。

町民生活係は、町税、戸籍、諸証明、国民健康保険、国民年金、ごみ処理などを担当しています。また、児童手当も受け持っています。

保健福祉係は、健康づくり、成人保健、母子保健、高齢者福祉、乳幼児医療などを担当しています。また、介護保険や後期高齢者医療も受け持っています。

税金、ごみ処理、医療費、検診など、町民課では多くの皆さんにとって身近な仕事を行っています。



総合行政情報システムでさまざまな情報を管理



町営路線バス

総務課は、役場の窓口から向かって左側にあり、7人の職員が配属されています。課内には、総務係と企画財政係の2つの係があります。

総務係は、消防、住民自治、条例、議会、人事、職員の福利厚生、選挙などを担当しています。また、町営路線バスの運行も受け持っています。

企画財政係は、町の財政、振興計画の策定、地区の振興支援などを担当しています。また、「広報みしま」と「お知らせ版」の編集を行っています。

また、現金・物品の出納・保管などを担当する出納室、町議会の運営を担当する議会事務局があります。

町民生活係

TEL 48-5555

●担当業務

戸籍、住民基本台帳、外国人登録、諸証明等の交付、各種受付業務、児童手当、町税(国民健康保険税・介護保険料を含む)の賦課・徴収、納税組合の指導育成、土地・家屋台帳等の整備・保管、国民健康保険、国民年金、公害、廃棄物(ごみ)の処理、景観づくり、自然保護に関すること。



保健福祉係

TEL 48-5565

●担当業務

健康づくり、少子化対策、成人保健対策、母子保健・福祉、保健指導、介護保険、介護予防、児童福祉(児童手当を除く)、社会福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、高齢者生活福祉センターの管理、多目的集会施設の管理、社会福祉法人の育成強化、後期高齢者医療、地域包括支援センター、特定健康診査・特定保健指導、乳幼児医療、子育て支援医療に関すること。

町民生活係 主査 二瓶 大樹

皆さんの家に、他人がごみを捨てたらどう思いますか。そのごみは誰が片付けるのでしょうか。ポイ捨てや不法投棄は、誰かの家を汚す行為です。絶対にやめましょう。



保健福祉係 主査 菅家 直人

皆さんの健康長寿と、もし病気などになっても不安なく暮らせる町、安心して子育てができる町を目指し、係一丸となって努めます。何でも気兼ねなくご相談ください。



企画財政係 主査 二瓶 仁志

企画と財政の両視点から、バランスのとれた町づくりを目指していきます。特に情報通信基盤整備は、幅広く活用される生活基盤としての整備を目指して取り組みます。



総務係 主査 小松 昭

4月から総務係に配属されました。消防、防災、町営バス、給与、職員の福利厚生などを担当します。皆さんの暮らしを守るために努力しますので、よろしくをお願いします。



企画財政係

TEL 48-5515

●担当業務

予算、財政、企画調整、振興計画策定・進行管理、特別プロジェクト、広報広聴、統計調査、地区の振興支援、結婚対策、自立計画、地球温暖化対策、各課間の連絡調整に関すること。



総務係

TEL 48-5511

●担当業務

条例、規則、規程の制定・改廃、議会、公有財産、契約、文書、住民自治区、消防、防災、防犯、無線電波、公用車の管理・運転、交通安全、町営路線バス事業、各種バス運行業務、人権擁護、人事、給与、職員の福利厚生、その他、他の係に属さない事項に関すること。

出納室

TEL 48-5505

●担当業務

現金の出納・保管、物品の出納・保管、現金及び財産の記録・管理、決算の調整、支出負担行為の確認に関すること。

議会事務局

TEL 48-5588

●担当業務

町議会の運営に関すること。

教育委員会

年中行事、生活工芸
住民の参加、親子の体験
みんなでつくるエコミュージアム

教育委員会は
皆さんの「学びの場」を創出します



国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」



会津桐の新製品「桐チェスト」
製作/会津桐タンス(株)

産業建設課

地域資源を活用した起業支援
会津桐や会津地鶏の振興
道路や水道の維持管理

産業建設課は
町の元気と生活基盤を支えます

教育委員会生涯学習課は、町民センター1階に事務所を置き、5人の職員が配属されています。生涯学習課は、学校教育、子育て支援、生涯学習、社会体育、町民センターの維持管理などを担当しています。また、年中行事などの文化財の保存・活用を図る「三島町歴史文化基本構想」の策定を進めています。三島保育所では、保育士4人と調理師1人が、乳幼児の保育に当たっています。入所申し込みや保育料の支払いについては、教育委員会生涯学習課にお問い合わせください。生活工芸館では、編み組細工などの生活工芸の普及・技術指導、展示会などを行っています。



地域の食文化を伝える「おばあちゃんの味」



生活に欠かせない水道

産業建設課は、役場の窓口から向かって右側にあり、11人の職員が配属されています。課内には、文化観光係と産業建設係の2つの係があります。文化観光係は、その名の通り、地域の文化を観光につなげていく振興策を担当しています。また、職業紹介や起業支援などを受け持っています。産業建設係は、会津桐や会津地鶏の振興、農林業の振興、道路や上下水道、町営住宅の維持管理などを担当しています。また、農業委員会事務局を受け持っています。昨年度までは3つの係がありましたが、4月から文化観光係と産業建設係の2つに再編されました。

生涯学習課

TEL 48-5599

●担当業務

教育委員会、学校教育、学校の設置・管理・廃止、社会教育、生涯学習、公民館、青少年育成、子育て支援、文化財保護、町史編さん、社会体育、国際交流、町民センターの維持管理・運営、生涯学習センターの維持管理・運営、保育料の徴収、芸術文化の振興、エコミュージアムに関すること。



三島保育所

TEL 48-5501

●担当業務

保育所の維持管理・運営に関すること。

生活工芸館

TEL 48-5502

●担当業務

生活工芸館の維持管理・運営、生活工芸運動の普及、生活工芸の研究開発・技術指導、交流センターの維持管理・運営に関すること。

生涯学習課 主事 栗城 拓郎

社会体育を担当しています。住民の皆さんの生活の中にスポーツを取り入れ、子どもからお年寄りまでスポーツに親しめる「明るく豊かな三島町」を目指します。



生涯学習課 主査 五十嵐 義展

文化財を活かした町づくりや、エコミュージアム推進事業などを担当しています。伝統文化が残る三島町での生き方、暮らし方を、皆さんと一緒に話したいと思っています。



新採用

産業建設係 主事 諏訪 義徳

11年ぶりに郷里に戻って働くことができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。若く新しい発想力と行動力で、町づくりに貢献します。よろしく願います。



文化観光係 主査 大竹 重一郎

自然、景観、伝統行事、地域の食文化など、三島町の魅力を積極的にPRしながら、それを地場産業につなげ、住民の皆さんが活躍できる場をつくりたいと思います。



産業建設係

TEL 48-5566

●担当業務

農業振興、林業振興、会津桐振興、会津地鶏振興、畜産振興、猟政、農地・水環境保全向上対策、農林水産物処理加工施設、木材加工施設、そば加工施設、食鳥処理施設、農林水産物加工品等展示販売施設、中山間地域直接支払事業、農業委員会、町道の建設・維持管理、林道の建設・維持管理、治山、砂防、河川、治水、国道、県道、公共施設の建設、建築許可、公営住宅の建設・維持管理、屋外広告物、簡易水道の建設・維持管理、合併処理浄化槽に関すること。

文化観光係

TEL 48-5533

●担当業務

文化観光の振興、商工業の振興、ふるさと運動（特別町民）、ふるさと振興公社、情報物産館、早戸交流拠点施設、美坂高原、大林公園、多目的活動施設、職業紹介事務、起業促進、観光協会、グリーンツーリズムの推進、物価対策、消費者行政に関すること。



用語説明

■**一般会計と特別会計**…町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。

■**町税**…住民の皆さんに納めていただく税金です。(町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税など)

■**地方交付税**…町の財政力に応じて国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスができるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。

■**町債**…町の借金で、償還が2年以上にわたるものです。公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。

■**国庫支出金**…町が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金です。

■**県支出金**…町が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金です。

■**人件費**…報酬や給与などです。

■**物件費**…賃金、旅費、需用費など消費的な経費です。

■**維持補修費**…道路や公共施設などを管理するための経費です。

■**扶助費**…高齢者、児童、心身障害者などの支援のための経費です。

■**補助費等**…町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。

■**普通建設事業費**…道路や公共施設の整備のための経費です。

■**公債費**…町の借金を償還する(返す)ための経費です。

■**積立金**…財政運営のために積み立てるお金です。

■**繰出金**…一般会計から特別会計に出しているお金です。

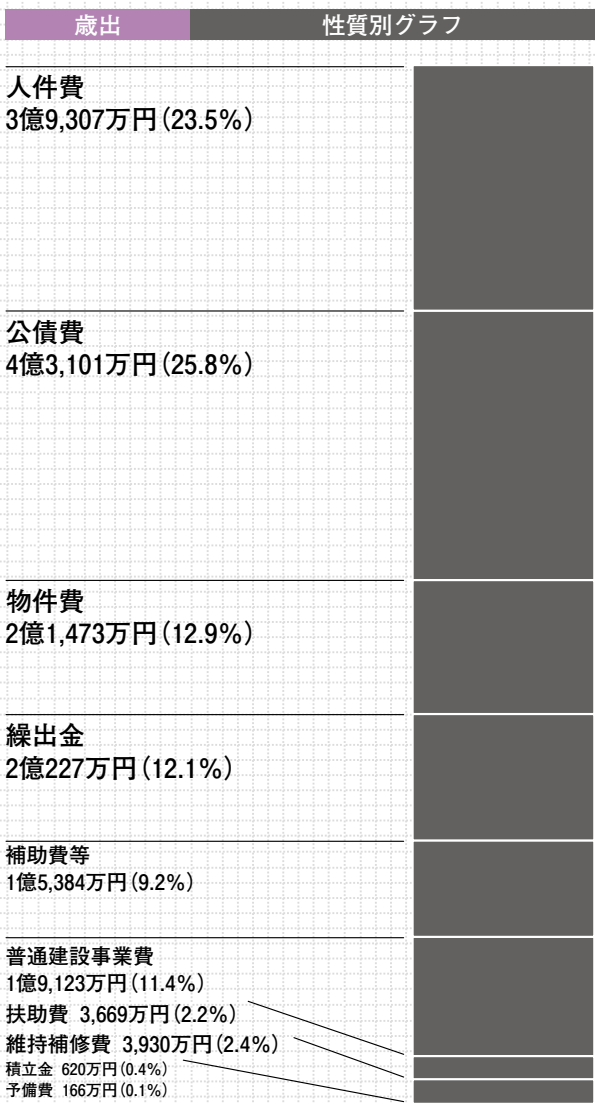
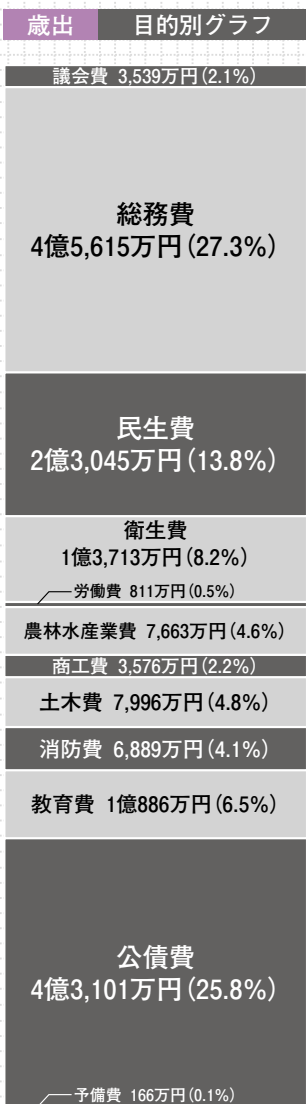
☎ 企画財政係 Tel 48-5515

光ファイバーケーブル整備に1億4,385万円 都市部との情報格差をなくし 福祉や産業への活用を目指す

一般会計…歳出

歳出では、各課において経費の節約に努め、優先すべき事業に重点的に予算を配分しました。特に、光ファイバーケーブルの整備は最優先で行います。財源には、県の補助金6000万円と、過疎対策事業債(借金)8220万円が充てられます。下の性質別グラフでは、普通建設事業費などに入ります。一時的な負担増となりますが、都市部との情報格差をなくし、高齢者福祉や起業支援など、さまざまな活用を図るために、早く完成させなければならぬものと考えています。

歳出の4分の1を占める公債費は、町の借金の返済です。一般会計と特別会計を合わせた借金(地方債)の残高は、平成18年度末で約40億円、平成19年度末で約36億7千万円と減少しています。



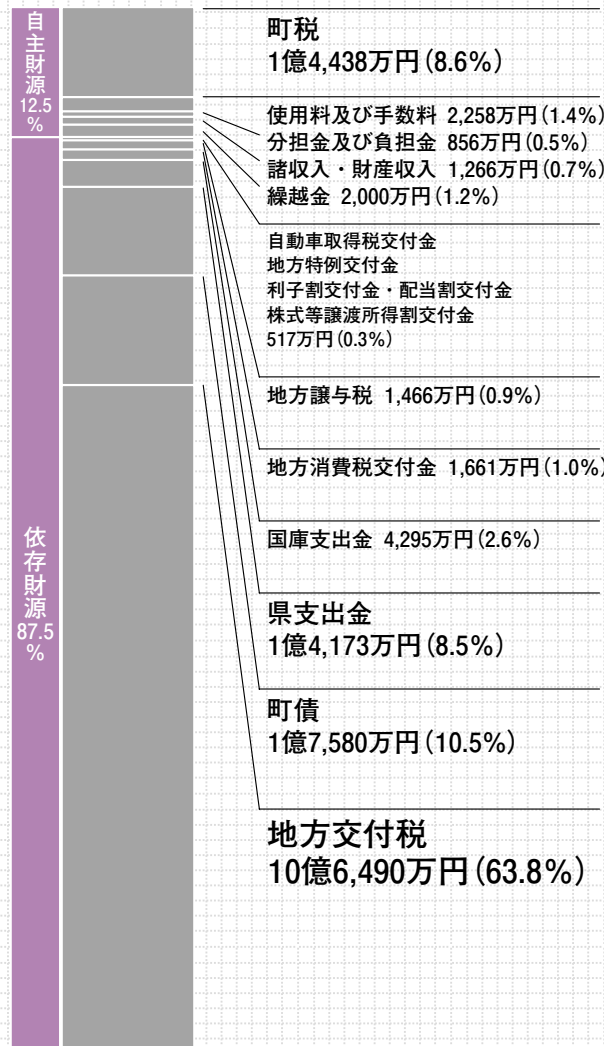
節約財政の中で、優先事業に投資する予算編成 一般会計予算16億7,000万円 前年度より9.1%増

平成21年度の一般会計と8つの特別会計の予算が、町議会3月定例会で議決されました。町の予算は、住民の皆さんの大切な税金や、国からの地方交付税などで成り立っています。町職員は、最小の経費で最大の効果を上げることに努め、住民の皆さんのために優先すべき事業を実施していきます。

地方交付税が63.8% 町税は8.6% 景気低迷が続く中で、国頼みの不安定な財政事情

一般会計…歳入

歳入の大部分を占める地方交付税は、前年度より769万円(9.0%)の増額となりました。しかし、日本国内の景気低迷が続いており、国税収入が減少すれば、地方交付税に配分できなくなるが予想されます。地方交付税を頼りとしている三島町の財政は、極めて不安定なものです。町民税や固定資産税などの町税収入も減少しています。住民福祉の充実を図りながら、借金の返済と基金の積み増しに努め、健全な財政運営を目指します。



平成21年度 会計別予算額

会計名		予算額	増減率
一般会計		16億7,000万円	+9.1%
特別会計	国民健康保険	2億9,679万円	+9.0%
	簡易水道	1億6,134万円	+20.7%
	路線バス	2,065万円	+0.1%
	老人保健	118万円	-96.4%
	農業集落排水	3,434万円	-3.6%
	介護保険	2億6,791万円	+7.5%
	戸別合併処理浄化槽	4,996万円	+83.9%
	後期高齢者医療	3,021万円	-18.5%
合計		25億3,238万円	+8.2%



1

口では何とでも言える——
行動しなければならない
あなたと共に、歩みたい
あなたと共に、笑いたい
あなたの身近に、三島町役場



2

◎編集を終えて

役場について、このような広報を行うのは、おそらく初めてだと思えます。「紙には何とでも書ける。実際には変わらない」と思う方もいるでしょう。そのとおりです。問題は、行動できるかどうかです。役場職員的能力、行動力が問われています。

再確認したいのは、役場は住民のためにあるということ。職員の任務は、住民のために働くこと。そんな当たり前のことを、毎日、毎日、自分に言い聞かせること。それが、町づくりのプロへの第一歩だと思っています。

職員がもし怠けていたら、怒ってください。どんどん言ってください。あなたの声が、役場を変え、町を変えます。

特集「三島町役場」終わり

変わらなければ—— 若手職員が定期的に ミーティングを実施

役場の若手職員は、昨年6月から定期的にミーティングを行っています。その目的として、①町づくりのプロとしての意識向上②課・係を超えた情報や課題の共有③役場組織と事務事業の見直しを掲げています。「もつと自分たちが変わらなければ……」という思いから、ミーティングの名称をCHANGE（チェンジ）とし、月2回程度、午後5時ごろから集まって話し合いを行っています。

このミーティングのきっかけは、町長の命を受けて実施した先進地視察調査です。若手職員15名が4班に分かれて、徳島県上勝町、長野県下條村、宮城県加美町・大崎市、岩手県遠野市に行き、特色のある町づくりを学んできました。その経験を実務につなげるために、継続的にミーティングを行うことにしたのです。

しかし、それぞれの担当業務が忙しいときは、なかなか集まるのができません。それでも出席できる職員で話し合いを進め、結果を記録して共有するように努めてきました。

役場の事務事業の見直しでは、各課で行っている業務をすべて紙に書いて並べ、三島町振興計画と照らし合わせる作業を行いました。その結果、計画の中で実施されているものと実施されていないものが見えてきました。振興計画は、住民の皆さんのために作るものです。皆さんの意見をもっと聞き、議論を積み上げて、計画を策定することが必要です。それに合わせた役場組織の再編や、適正な職員配置も必要です。

まず、住民の皆さんの声を聞くことから始まりま

す。皆さんが普段どんなことを考え、どんなことに悩み、どんなことをしているのか……。これまでの地区座談会やアンケート調査では分からないことを聞くために、各地区での集まりなどにお邪魔してお話を伺いたいと考えています。

これまで、小さな子どもを持つ母親の子育てサークル「カタクリデビュー」や、川井地区の「ふれあい事業」に参加して意見を聞きました。母親の皆さんからは、「子どもの医療費を、月締めで役場に請求する手続き

が大変」「予防接種は忘れがちになってしまいうので、通知が届くとうれしい」「父親が子育てに関心を持てるような講座を実施してほしい」などの声を聞くことができました。できることはすぐに対応し、難しいことは解決策を話し合い、実現に向けて動きたいと思えます。また、その作業を振興計画作りにもつなげ、住民の声を反映したものとなるよう努めていきます。

「変わらなければ……」この気持ちを忘れず、ミーティングを続けます。

日々の業務の悩み、疑問
すべてを共有し、改善につなげたい
自分を変えたい、役場を変えたい
そして、町を変えたい——

産業建設課 文化観光係長
小柴 謙



CHANGEのメンバー15人は、各研修先で頑張っている人たちを目の当たりにし、自らも考え、行動しなければという思いで現在活動しています。具体的な事業展開はまだ少しではありますが、常に「住民の皆さんの目線に立つ」ということを忘れず、皆さんとお話する機会をどんどん作っていきたくと考えております。住民の皆さんからも、役場の若手職員に、ぜひ声を掛けてください。

第28回 三島町生活工芸品展受賞者名簿（敬称略）

賞	作品名	作者名	地区
大賞	ヒロロショルダー、ポーチ付き	角 田 キイ子	浅 岐
優秀賞	ホ ウ キ	角 田 進	川 井
	木 箆	舟 木 信 次	間 方
奨励賞	山 ブ ド ウ 手 提 げ	秦 育 雄	大石田
	ガ マ 草 履	菅 家 ハルエ	間 方
	ス カ リ	長 郷 タツエ	間 方
伝統技術者証	花 台	板 橋 泰二郎	滝 原
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	五十嵐 朝 子	大石田
	楯 円 箆	角 田 晴 実	川 井
	山 ブ ド ウ 抱 え バ ッ グ	秦 栄 吾	大石田
三島町生活工芸運動友の会長賞	山 ブ ド ウ 手 提 げ	秦 長 喜	大石田
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	一ノ瀬 時 代	大石田
	米 と ぎ 箆	角 田 清 義	浅 岐
三島町文化協会会長賞	オ オ ダ レ	長谷川 一 雄	桑 原
三島町観光協会会長賞	ミ ニ ゲ ン ベ	舟 木 美恵子	間 方
三島町商工会会長賞	菓 子 箆	目 黒 良 介	滝 谷
日本赤十字社福島県支部長賞	ヒ ロ ロ 手 提 げ	矢 澤 民 子	高清水
福島県老人クラブ連合会長賞	作 務 衣	齋 藤 ミツコ	大 登
三島町老人クラブ連合会長賞	ス カ リ	栗 城 ヒサノ	西 方
三島町社会福祉協議会長賞	お に ぎ り 入 れ	五十嵐 三 美	大 谷
福島民報社賞	抱 え バ ッ グ	久保田 昭 一	間 方
福島民友新聞社賞	花 器	二 瓶 六衛門	西 方
有限会社マルシェみしま賞	ヒ ロ ロ ポ ー チ	阿 部 敏 子	桧 原
宮崎清賞	ヒロロショルダー、ポーチ付き	角 田 キイ子	浅 岐
	木 箆	舟 木 信 次	間 方
	ガ マ 草 履	菅 家 ハルエ	間 方
	ス カ リ	長 郷 タツエ	間 方
	花 台	板 橋 泰二郎	滝 原
	米 と ぎ 箆	角 田 清 義	浅 岐
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	諏 訪 幸 代	浅 岐
	米 と ぎ 箆	目 黒 政 栄	滝 谷
	山 ブ ド ウ 手 提 げ	小 堀 千加子	西 方
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	角 田 米 子	浅 岐
	箆	若 林 清 一	浅 岐
	山 ブ ド ウ 財 布	福 田 耕 士	大 谷
	四 つ 目 箆	小 平 廣 市	西 方
	マ タ タ ビ ト ー ト バ ッ グ	五十嵐 寅 一	大 谷
	六 つ 目 箆	角 田 進	川 井
	雨 蓑	青 木 基 重	西 方
	オ オ ダ レ	長谷川 一 雄	桑 原



1 角田キイ子さん＝浅岐＝の大賞作品「ヒロロショルダー、ポーチ付き」
2 角田キイさんに、齋藤茂樹町長から大賞が贈られた
3 久保田敏昭さん＝長野県野沢温泉村＝の経済産業大臣賞作品「小判型バスケット」。材料はアケビ蔓など
4 久保田敏昭さんに、佐藤公一経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長から、経済産業大臣賞が贈られた



第28回 三島町生活工芸品展 大賞

角田 キイ子さん

第8回 全国編み組工芸品展 経済産業大臣賞

久保田 敏昭さん



第8回 全国編み組工芸品展受賞者名簿（敬称略）

賞	作 品 名	作 者 名	住 所
経 済 産 業 大 臣 賞	小 判 型 バ ス ケ ッ ト	久保田 敏 昭	長 野
林 野 庁 長 官 賞	リ ビ ン グ バ ス ケ ッ ト	桐 山 浩 実	大 分
東 北 経 済 産 業 局 長 賞	伊 達 げ ら	斎 藤 信 一	青 森
福 島 県 知 事 賞	ク ル ミ バ ッ グ	溝 井 友 子	福島・石川町
(財)伝統的工芸品産業振興協会会長賞	マ タ タ ビ 四 つ 目 箆	五十嵐 恵	三 島 町 大 谷
三 島 町 長 賞	箆（菓子・果物入れ）	栗 田 傳三郎	福島・金山町
奥会津三島編組品振興協議会長賞	ヒ ロ ロ 手 提 げ か ご	板 橋 サガミ	三 島 町 滝 原
福 島 民 報 社 賞	かけ編み財布（横長）	栗 原 和 美	埼 玉
福 島 民 友 新 聞 社 賞	ア ケ ビ 整 理 か ご 浅 型	山 本 正 子	福島・猪苗代町
N H K 福 島 放 送 局 賞	工 具 箱	菊 池 典 男	熊 本
福 島 テ レ ビ 賞	花 器	竹 内 和 雄	福島・会津若松市
福 島 中 央 テ レ ビ 賞	梅 干 箆	原 山 淑 孝	長 野
福 島 放 送 賞	米 と ぎ 箆	久保田 義 輝	福島・郡山市
テ レ ビ ュ ー 福 島 賞	ク ル ミ か ご	階 久美子	岩 手
特 別 賞	山 ブ ド ウ 夏 座 蒲 団	今 泉 弘 義	福島・田村市
	あ か り （ 鷹 羽 編 ）	千 葉 文 夫	宮 城
	あじろ白細長一本クルミ入り	西 方 さと子	長 野
	ノ レ ン	佐々木 武 郎	福島・福島市
	手 編 み 帽 子	五十嵐 カツミ	福島・昭和村
	ダ ル マ 胴 取 り 手 付	濱野和 弘	福島・郡山市



1 紙びなを集める矢澤雅生くん(5歳)と、付き添う母の昌江さん
2,3 報道や一般のカメラマンが、この希少な民俗行事を終始追いかけた。雅生くんは、たびたびカメラに取り囲まれた
4 地区住民の願いが込められた紙びなは、只見川をゆっくりと流れていった



矢澤雅生くん、原悠仁くんが継承 高清水の「ひな流し」

カメラマン殺到 三島町歴史文化基本構想策定委員が視察

高清水地区の年中行事「ひな流し」は3月4日に行われ、紙びなが只見川に流されました。この行事は、女性の幸福や家内安全などを願って行われるものです。紙びなは、各家の女性と嫁いだ女性の数だけ、和紙で作られます。それを男の子が木箱に集めて回り、只見川の河畔から流します。県の重要無形民俗文化財に指定されています。

今回紙びなを集めたのは、18戸の高清水地区でただ1人の男の子、矢澤雅生くん(5歳)と、同地区に母親の実家がある原悠仁くん(3歳)の2人。母に付き添われながら紙びなを入れた木箱を運び、三島大橋付近から只見川に流しました。

行事には多くのカメラマンが訪れ、この希少な民俗行事を撮影しました。また、赤坂憲雄県立博物館長など、三島町歴史文化基本構想策定委員の皆さんが視察しました。

少子高齢化のため継承が危ぶまれる一方で、世間の注目を浴びている「ひな流し」。まだ幼い雅生くんや悠仁くんの目には、どのように映ったのでしょうか。この心優しい行事を、いつまでも守り伝えていきたいものです。



1



2

1 7人が卒業した三島中卒業式 2 卒業生は退場する際、お世話になったお父さんやお母さんに花を手渡し、握手を交わした 3 先生や両親への感謝の言葉や、これからの目標を一人一人述べた



3

7人の未来に幸あれ 三島中学校卒業式

三島中学校卒業式は3月13日、同校体育館で行われ、男子4人、女子3人、計7人が卒業しました。佐久間雄彦校長は「自分を大切に、能力を伸ばす努力をしてください」と式辞を述べました。来賓の齋藤茂樹町長は「志を高く持ち、無限の可能性に向かって進んでください」と祝辞を述べました。また、五十嵐豊一PTA会長は「携帯電話に頼らず、顔を合わせて話すことを大切にしてください」と話しました。

卒業生を代表して、五十嵐渉くん＝大谷＝が「小規模校だからこそできた経験は、決して忘れることはありません。これからはそれぞれの道を進みますが、苦しいときは三島中を思い出してがんばります」と答辞を述べました。保護者代表として西方春吉さん＝西方＝が謝辞を述べ、在校生代表として大竹克明くん＝滝谷＝が送辞を述べて卒業生を送りました。

夢を抱き、9人が三島中へ 三島小学校卒業式

三島小学校の卒業式は3月23日、同校体育館で行われ、男子4人、女子5人、計9人が卒業しました。坂内洋二校長は「明るく、何事にも失敗を恐れず、チャレンジしてください」と式辞を述べました。また、矢澤源成教育長職務代理者は「自分を知ること、将来にわたって追求してください」と告辞を述べました。続いて、齋藤茂樹町長、角田伊一町議会議長、中丸哲也PTA会長が祝辞を述べました。また、保護者を代表して板橋充是さん＝宮下＝が謝辞を述べました。卒業生9人は、卒業証書を授与された後、中学校での目標や将来の夢を一人一人発表しました。



9人が卒業した三島小卒業式

お父さん、お母さん、ありがとう 三島保育所満了式 9人が三島小へ

三島保育所の満了式は3月27日に行われ、ほし組の男子3人、女子6人、計9人が満了しました。矢澤源成所長は「これからは自分のことは自分ですること。そして、あいさつをきちんとすることを約束してください」と式辞を述べました。また、齋藤茂樹町長、坂内洋二三島小学校長が祝辞を述べました。9人は声を合わせて「お父さん、お母さん、ありがとう。友達と一緒に元気な1年生になります」と誓いました。保護者の皆さんは、涙ぐみながら子どもの成長を喜んでいました。



9人が満了した三島保育所満了式

これからの行事予定

town schedule

4月6日(月)

9:00～ 三島小学校入学式 (同校体育館)

10:30～ 三島中学校入学式 (同校体育館)

4月8日(水)

13:30～ 町保健推進員会 (町民センター)

4月16日(木)

9:30～ 心配事相談 (福寿草)

4月18日(土)・19日(日)

大林ふるさとの山カタクリ祭 (西方・大林ふるさとの山)

4月26日(日)

10:00～ 三島町消防団春季検閲式(町民運動場)

5月3日(祝)～5日(祝)

鬼子母神例大祭 (西方・岩倉山鬼子母神)

クラッセふくしま賑わいイベント

奥会津三島町物産展

4月17日(金)～4月19日(日)

場所/福島市・クラッセふくしま1階ロビー

奥会津編み組細工

会津桐タンス

会津地鶏親子丼

山菜・お土産品 ほか出品多数

どうぞお越しください

園 役場 産業建設課 文化観光係

Tel 0241-48-5533

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》
園 役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

心の健康相談

4月9日(木)13:30～ 福寿草

足腰げんき教室

○室内運動編

4月10日(金)13:30～ 町民センター

5月1日(金)13:30～ 町民センター

○水中運動編

4月17日(金)13:00 町民センター集合
西会津さゆり公園プール

3歳児健診

4月15日(水)13:00～ 柳津町・銀山荘

ポリオ経口接種

4月23日(木)13:00～ 町民センター

保健師より

健康づくり教室への積極的な参加を
お待ちしております

町では「足腰げんき教室」などの健康を維持増強するためのさまざまな教室を行っています。どの教室も専門の講師を迎え、創意工夫した内容で行っており、「参加してよかった」と思っていただけだと思います。住民の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



ご寄附ありがとうございました

社会福祉協議会へ
ご遺志によるもの

五十嵐 重子 様 (宮下)

目黒 仁志 様 (滝谷)

目黒 義和 様 (滝谷)

三島町役場人事

■3月31日付退職
目黒 民一 (会計管理者、(兼)出納室長)
五十嵐 一夫 (産業建設課課長補佐、(兼)建設係長)
五十嵐 清人 (農業委員会事務局、(兼)産業建設課農林係)

■4月1日付採用
諏訪 義徳 (産業建設課産業建設係)

■4月1日付異動
鈴木 隆 (総括参事、(兼)総務課長、(兼)会計管理者)
渡部 繁信 (参事、(兼)町民課長、(兼)保健福祉係長)
小堀 庄太郎 (産業建設課課長補佐、(兼)産業建設係長)
坂内 君子 (出納係長)
二瓶 聡子 (教育委員会生涯学習課生涯学習係)
小松 昭 (総務課総務係)
秦 一夫 (産業建設課産業建設係)
星 保弘 (産業建設課産業建設係)
五十嵐 義幸 (農業委員会事務局、(兼)産業建設課産業建設係)
佐久間 淳 (産業建設課産業建設係)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では2月中、犯罪は発生しませんでした。福島県内では、振り込め詐欺は減少傾向にありますが、「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」は増加しています。はがき、携帯電話のメールなどで送られてくる、身に覚えのない請求には絶対に応じないでください。少しでも不安なときは、警察署や消費生活センターなどにご相談ください。また、融資を受ける際に、手数料や保証金などを要求してくる場合は「融資保証金詐欺」です。絶対にお金を振り込まないでください。

街頭犯罪等発生状況 (1月～2月)		
区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍込み		
事務所荒し		
出店荒し		
自動車盗	1	
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪計	2	0
全刑法犯	15	0

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・暴行・傷害・万引き・詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。



秦施設長(左端)に目録を手渡す斎藤NTT東日本会津支店長(右端)

桐寿苑に電動ベッドなどを寄贈

NTT東日本

NTT東日本の斎藤智会津支店長らが3月5日、特別養護老人ホーム桐寿苑を訪れ、電動ベッド1台とエアマット1枚(約34万円相当)を寄贈しました。社員の募金と会社の負担によるものです。寄贈を受けた秦千代栄施設長は「高価なベッドをいただき、大変感謝しています。今後も、入所者が安心して暮らせるよう努めていきます」と話しました。

にほんご かいわ きょうしつ
Japanese Lesson

会津坂下町国際交流協会

にほんごを、まなびませんか?

昼間コース Day course

●曜日Day 金曜日Friday

●期間Dates 4月17日～7月17日
(Apr.17～Jul.17)

●時間Time 14:00～15:30

夜間コース Evening course

●曜日Day 火曜日Tuesday

●期間Dates 4月14日～7月21日
(Apr.14～Jul.21)

●時間Time 19:00～20:30

受講料 全14回3,000円+教科書代

場所 会津坂下町役場東分庁舎2階

園 会津坂下町国際交流協会

Tel 0242-84-2135 (Japanese only)

三島町の人口と世帯

(3月1日現在)

人口	2,132	-10	出生	0
男	1,004	-6	死亡	7
女	1,128	-4	転入	2
世帯	860	±0	転出	5

※住民基本台帳による数値です。

母子家庭のお母さんのための
就職相談会のご案内

福島県母子家庭等就業・自立支援センター

県内にお住まいの母子家庭のお母さんなどを対象に就職相談会を開催します。相談は無料です。仕事をお探しの方、就職に関して不安な方、お気軽にご相談ください。

●場所 会津保健福祉事務所(会津若松市追手町7-40)

●開催日 偶数月の第2水曜日(4月8日、6月10日、8月12日、10月14日、12月9日、2月10日)

●相談時間 10:00～15:00(1人当たり60分以内)

●内容 求職登録受け付け、求人情報閲覧、資格取得の方法や助成制度のご案内、その他就職に関する相談全般

●申込方法 事前に予約が必要です。電話、電子メール、Faxなどでお申し込みください。

園 福島県母子家庭等就業・自立支援センター

Tel 024-521-5699 Fax 024-521-5663

E-mail

boshi@fukushimakenshakyo.or.jp

只見町・昭和村・金山町・三島町・柳津町・福島大学 奥会津5町村と福島大学が友好協力協定締結 地域づくりの連携を約束



協定書に署名する町村長（右から2人目が齋藤茂樹三島町長）

三島町、柳津町、金山町、昭和村、只見町の5町村と福島大学の相互友好協力協定締結式は3月15日、町民センターで行われました。この協定は、5町村と福島大学が政策課題の研究などで連携し、地域活性化や人材育成を目指すものです。締結式では、齋藤茂樹三島町長、井関庄一柳津町長、長谷川律夫金山町長、馬場孝允昭和村長、目黒吉久只見町長、今野順夫福島大学長が協定書に署名し、森合正典福島県会津地方振興局長が立ち会いました。

引き続き、奥会津シンポジウム「連携・協働による奥会津・歳時記の郷づくり」が開催され、同大学行政政策学類の塩谷弘康教授などが、奥会津地域の現状と課題について報告しました。続いてパネルディスカッションが行われ、5町村長と福島大教授らが地域づくりについて話し合いました。

また、奥会津地域の活性化に向けて連携を強化するために、「奥会津5町村活性化



パネルディスカッションでは、鈴木浩福島大学共生システム理工学類教授がコーディネーターを務め、5町村長のほか、同大学の今野順夫学長、星野珙二副学長、千葉悦子行政政策学類長と、福島県会津地方振興局の塚原啓史企画商工部長がパネリストとなり、活発な討論が行われた

化協議会」が同日発足し、会長には齋藤茂樹三島町長が選任されました。会場には5町村の住民など約150人が集まり、この協定による地域の活性化に期待を寄せました。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
☎ 教育委員会 Tel 48-5599

今月のおすすめ図書

幼児向け

ことばがいっぱい
言葉図鑑
全10巻
五味太郎・監修 制作
偕成社



「動きの言葉」「様子の言葉」「暮らしの言葉」など、毎日の生活で使われている言葉を、絵で楽しく学ぶことができます。

小学生向け

ファーブル
こんちゅう記
全7巻

小林清之介・文 横内襄・絵
小峰書店

昆虫の秘密を解き明かしたファーブル昆虫記を、子どもにも分かりやすく書いた本です。不思議な力を持っている昆虫の面白い生活を知ることができます。



図書コーナー愛称決定

諏訪静枝さんの「ゆめぽけっと」

町民センター図書コーナーの愛称を募集した結果、諏訪静枝さん＝宮下＝の「ゆめぽけっと」に決定しました。諏訪さんは「夢に向かって知恵や教養などを詰め込む場所、子どもだけでなく世代を超えて多くの人が集まる場所になってほしい」という願いを込めて名付けました。その他の佳作は以下のとおりです。おめでとうございます。

「童話の森」 小柴結佳さん（中3・名入）
「ぼかぽか図書館」 馬場一暢くん（小4・大登）
「ゆめりんく」 高松泰子さん（郡山市）

連載

心の医療

福島県立宮下病院からの情報コーナー

部局紹介 その②

検査科・放射線科・薬剤部

宮下病院は、診療部、看護部、薬剤部、事務部の4つの部門で構成されています。今回は、診療部に所属する検査科、放射線科と、薬剤部を紹介します。

検査科

検査科では、患者様から採取された血液・尿などの検体検査および心電図、呼吸機能（肺活量）などの生理検査を行っています。また、生化学自動分析装置、自動血球計数装置、血液ガス分析装置などを使って、肝機能や腎機能の検査、脂質検査、貧血検査などを行っています。検査について疑問に思うこと、不安な点などがありましたら、遠慮なくご相談ください。

放射線科

放射線科では、患者様（特に高齢者）の心理や行動に配慮しながら検査を行っています。医師、看護師などのスタッフが最大限の力を発揮できるよう、検査技術の進歩に遅れることなく、常に画像診断の質の向上を目指しています。主な業務は、一般撮影（胸部、腹部、骨系）、透視検査、乳房撮影（マンモグラフィー）、CT検査、内視鏡・超音波検査を行っています。放射線検査に関して、不明な点や説明が不十分な場合がありますら、いつでもお問い合わせください。

薬剤部

平成17年5月より、外来患者様のお薬については原則的に院外処方に対応することとしました。現在、薬剤部では薬剤管理指導を重点的に行っています。入院中の患者様に処方されたお薬の服用方法・効能・効果について説明や、副作用の予防、重複投与の防止に努めています。このような業務を通じて、患者様とふれあい、患者様の健康管理のお役に立ちたいと考えています。お薬に関して不安に思っていること、悩んでいることなどがありましたら、お気軽に声をお掛けください。

☎ 福島県立宮下病院事務部 Tel 52-2321



昨年 4 月 16 日撮影



昨年 4 月 22 日撮影

里山に広がるカタクリの花畑 見上げれば、オオヤマザクラ 4月中旬から見ごろ

「大林ふるさとの山」には、カタクリが約 4 割に群生しており、淡い紫色の花を咲かせます。例年 4 月中旬から 4 月末が見ごろで、遊歩道を歩きながら楽しむことができます。また、三島町の花であるオオヤマザクラも 4 月下旬が見ごろです。この公園は、地元西方地区の皆さんによって保全され、美しい景観が守られています。里山の野の花の共演を、ぜひお楽しみください。

場 所

福島県大沼郡三島町西方
「大林ふるさとの山」

開花情報のお問い合わせ

三島町役場 文化観光係

Tel 0241-48-5533

三島町ホームページをご覧ください

<http://www.town.mishima.fukushima.jp>

編 集 後 記

▼平成 21 年度がスタートしました。三島町の職員は、2 人減の 41 人となりました。少ない職員でも行政サービスの質を落とさないよう、引き続き事務事業と組織の改善を進めていきます▼三島町の人口も、残念なことにとんどん減少しています。住民基本台帳では 3 月 1 日現在 2132 人。この 1 年で 62 人減りました。高齢化率は 46% に達しています▼三島中を 7 人が巣立っていきました。あの子たちの未来は無限大です。五十嵐渉くんは「苦しいときは三島中を思い出してがんばります」と語りました。自分を信じて、どこまでも夢を追いかけてほしいと思います。